

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
谷本茂明

教育の責任

AI・情報系の科目を担当しており、以下の表に示すように、「AI・情報入門」、「情報活用と危機管理」などの講義形式の科目から、「アルゴリズム」、「情報デザイン特論 B」などプログラミング演習を含む実践的な科目までを扱っている。これらはいずれも、AI・情報分野における基礎的な内容であるため、まずは基本的な知識と技術を確実に身につけ、活用できるよう指導している。

専門演習ゼミ 1 では、情報セキュリティマネジメントを主なテーマとし、卒業研究を見据えながら、基礎知識の習得から論文の輪読、応用的な課題への取り組みまでを段階的に行っている。

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける 位置づけ)
情報倫理・情報セキュリティ	1	1	講・演	選択	
情報倫理	3	2	講・演	選択	
情報・デザイン特論 B	3	14	講・演	選択	情報・デザイン専攻推奨科目
情報活用と危機管理	3	8	講・演	必修	情報・デザイン専攻必修科目
アルゴリズム	2	16	講・演	必修	情報・デザイン専攻必修科目
AI・情報入門	1	36	講・演	必修	
情報と社会（留学生）①	1	20	講・演	必修	
情報と社会（留学生）②	1	27	講・演	必修	
専門演習ゼミ 1	3	4	講・演	必修	情報・デザイン専攻必修科目

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

学生が幅広い視野を持って自ら問題を発見し、解決する力を育む場を提供し、本学の教育理念を具現化して、これからのグローバル社会を支える有為な人材を育成することである。特に、学生の知的な好奇心を大切にし、将来の夢を叶えられるように、豊かな教養を身につけ、継続して成長できるような指導を心がけている。

教育の方法

一般に、学生が集中できる時間は 15 分程度であるとされていることから、授業内容は 15 分単位で構成している。たとえば、「情報デザイン特論 B」や「アルゴリズム」など、プログラミング系の演習を中心とした授業では、15 分の講義と 15 分の演習を 1 セットとし、それを基本単位として展開している。

一方、「情報と社会」や「情報活用と危機管理」などの講義中心の授業においては、定期的に課題を出し、学生が自ら課題に取り組み、その成果をレポートとして提出するとともに、プレゼンテーションを行わせることで、能動的な学習を促している。

また、演習系・講義系を問わず、授業終了時には出席を兼ねた振り返りシート（5 ミニッツレポート）を記入させ、授業内容について「理解できた点」「理解できなかった点」「質問」などを自由に

書かせている。このシートに書かれた質問への回答は、原則として、学生が疑問を抱いたその日のうちに Google Classroom に掲載するよう心がけている。

さらに、翌週の講義では、この振り返りシートに記された質問内容を中心に復習を行うとともに、知識の体系的な定着を目的として、前週の講義内容をまとめた小テストを課し、学生が効率よく学習できるよう努めている。

教育の成果 および 今後の目標

授業アンケート調査結果では、「授業で分からなかったことは、Google Classroom に回答してくれます。それが効果的だと思います」などのコメントが記されるなど、振り返りシートの有効性が確認できた。プログラミングなど演習系の講義においても、「演習形式であるが、問題をただ解くのではなく、自分でこのプログラムのどこを変えるか、こういう風にするにはどうするかを考える授業なのが良いと感じた」、「演習が多く説明もわかりやすいと感じた」、「スライドもみやすく分かり易い」などのコメントがあり、概ね狙い通りの結果が得られている。

今後も、体系的な授業による基礎知識の習得を引き続き重視するとともに、演習科目においては、練習問題を学習段階に応じて幅広く用意することで、無理なくスキルの向上が図れるようにしたい。また、講義科目では課題解決力を高めるために、より高度なプレゼンテーションを含む演習を取り入れ、さらなる問題解決力の育成に努めていきたい。

また、IT パスポート試験や情報セキュリティマネジメント試験の過去問題等を講義内で紹介し、学生の資格取得への関心を高めるとともに、将来の就職活動にも活かせるよう働きかけていく予定である。

参考資料

- ・各授業で使用しているオンライン資料（非公開）